

勿来三小だより



令和2年度終了にあたり

令和2年度の教育活動も残すところあと1週間となりました。振り返りますと、今年度は、「突然の臨時休業」「学校行事等の延期や中止」「新しい学校生活様式」と、まさにコロナ渦での学校教育とはどうあるべきかを模索し続けた1年でした。しかし、そんな中でも子どもたちは、学校生活を通して着実に成長を続けました。この時代に柔軟に対応できたのは、私たち大人よりもむしろ子どもたちであったような気がします。三小の子どもたちは、どんな条件下でも、そして、様々な制限の中でも、笑顔を忘れず、楽しみながら、力強く躍動しました。

感染症、自然災害、環境問題、少子高齢化、Society5.0時代・・・、これからの社会に待ち受けている課題は山積しています。予測困難な時代を生きていく子どもたちにどのようにして未来を切り開く力をつけていくか、そのための学校教育とはどうあるべきかを考え、我々教職員は力を合わせて、これからも教育活動を推進していきたいと思えます。保護者の皆様並びに地域の皆様におかれましては、今後とも教育活動へのご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

勿来第三小学校 校長 草野秀一

授業参観

2月19日(金)、今年度最後の授業参観並びに学級懇談会を開催しました。保護者の皆様には、お忙しい中ご参加いただくと共に、感染対策へもご協力をいただき、誠にありがとうございました。



6年生を送る会

2月25日(木)、6年生を送る会を開催しました。今年度は、新型コロナウイルス感染防止のため、例年とは少し違った形となりましたが、送り出す在校生も送られる6年生も、たくさんの笑顔とありがたいの感謝の気持ちであふれる素晴らしい会となりました。



学校評議員会

2月26日(金)、第2回学校評議員会を開催しました。当日は、学校評議員の皆様にご全クラスの授業を参観していただいた後、今年度の本校の教育活動についてのご意見をいただきました。

今回いただいた貴重なご意見を、来年度の教育活動に生かしていきたいと思えます。



勿来三小だよりをご愛読いただきまして誠にありがとうございました。第13号をもちまして今年度の最終号とさせていただきます。